

第3回 公園づくりに関する市民懇談会

ワークショップ通信

武蔵村山市では、武蔵村山都市核土地地区画整理事業で、新たに大小合わせて複数の公園等の整備を計画しています。市の中心核に位置する面積が約6,000㎡もある『(名称仮称)4号公園』について、どのような公園にしていくか、ワークショップ方式で計画案を検討していきます。

第2回ワークショップ(令和3年11月27日)に引き続き、令和3年12月18日に第3回ワークショップを開催しました。今回は最後のワークショップとなり、雰囲気にも慣れた参加者の皆さんから、より多くの素敵なアイデアを発表していただきました。

大人からは「インクルーシブ」、「オンリーワン」などの公園づくりをコンセプトに、樹木や四季折々の花による「潤いがあり、安らぎのある公園」をイメージされている方が多かったように感じます。また、将来のモノレール駅と大型商業施設を結ぶ4号公園に、ふかふかな芝生の上で家族がくつろげ、キッチンカーにより飲食を楽しめる空間を導入し、オープン公園として整備するなど、素敵な意見をいただきました。

小学生からは、「ターザンロープ」「ボルダリング」などの遊具の設置は必ず設置して欲しい。狭山丘陵をイメージした丘を造り、その丘にトンネルを設置して、鬼ごっこをして遊びたいなど、活発な意見をいただきました。

なお、入江教授からは公園づくりはまちづくりが凝縮されたものであるとの教えがあり、市民と行政が一体となり今後の公園の維持管理問題などを話し合っていければ、より良い公園づくりやまちづくりが進み、武蔵村山市の活性化が進んでいくため、今後もこのような市民懇談会が色々なテーマで実施できれば素敵な街「武蔵村山市」になっていくとの講義でした。

○ワークショップの参加者の記念撮影

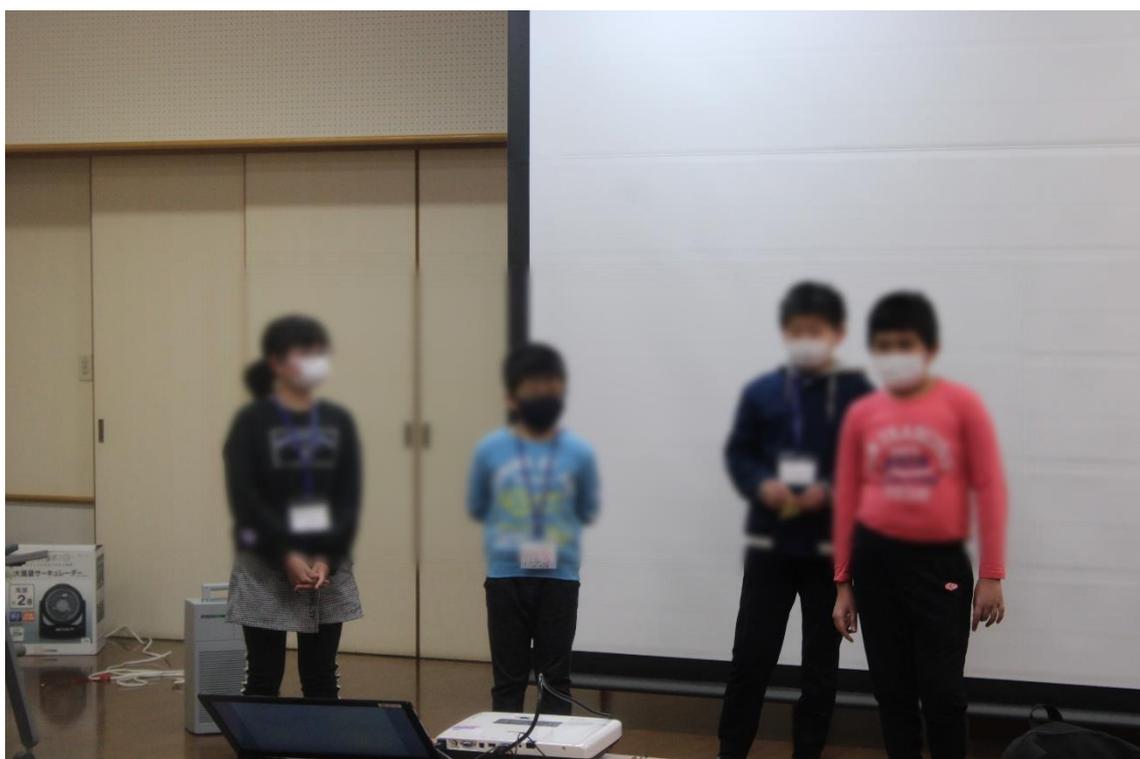


○ワークショップの様子



○前回のふりかえりと今後に向けて

今回は、4つのグループに分かれて、グループごとに前回、前々回で発表された意見を、より具体的な実現性を加味して、各自で考えてきた公園アイデアを発表しあい、公園デザインについて考えていただきました。そして、アウトプットとして、図面化を図り、より白熱した「市の内外からも人が集える公園をつくろう！」をテーマに、公園のテーマやコンセプト、ネーミング、公園での楽しみ方、魅力づくりについて考えました。



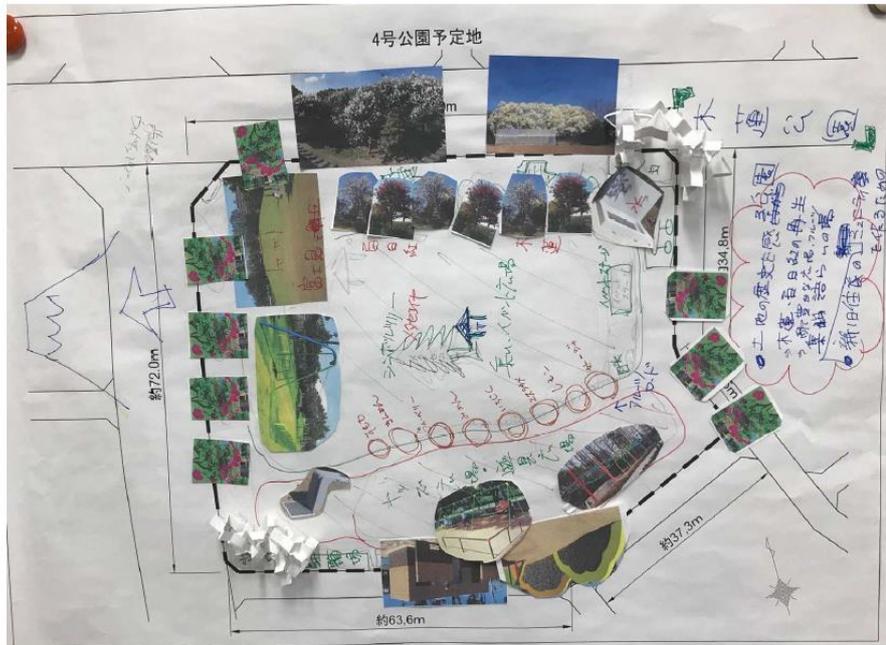
○グループごとの公園アイデア

Aグループ



テーマ
「オンリーワン、インクルーシブ、ネットワーク」
導入施設・記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ターザンロープ ・ブランコ ・トンネルがある登山 ・シンボルツリー(サクラ) ・外周部に樹木(高木、低木) ・カフェ ・トイレ 駐輪場 ・背のばしベンチ ・サークルベンチ ・ベンチ ・芝生広場 ・エントランス(2箇所)対角線状に配置
発表意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・狭山丘陵をイメージした高さ5m程度のなだらかな丘をつくり、周囲に芝生と多目的に遊べるゾーンを拡げる ・芝生空間の使い方のイメージは、家族とのんびり過ごす、空をみてのんびりする、友達と鬼ごっこをするなどであり、芝生空間を広くとるようにする ・丘に赤堀トンネルをイメージしたトンネルをつくり、鬼ごっこやかくれんぼに利用する ・丘の一部を、狭山丘陵をイメージした急な斜面にしている ・小さい赤ちゃんに乗れるような、ボックス型のブランコを配置する ・丘の斜面では、丘を利用したすべり台、ターザンロープなどの道具や、急斜面をロープでのぼるといった遊びを考えている ・大きな高木の日陰になるところにベンチを配置する ・イベントやホール遊び、ハロウィンなど、多目的に使えるような空間を配置する ・丘の展望台にはベンチを配置し、360度公園内すべてを見渡す ・公園内の通路は、車いすやベビーカーが歩きやすいようなフラットな形状にする ・敷地沿いに植栽を配置しこどもの飛び出しを防ぐ

Bグループ



テーマ
「土地の歴史を感じられる公園で、新旧住民の憩いの場として集い語らえる場所」
導入施設・記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場 ・イベント広場 ・イベントステージ ・シンボルツリー(メタセコイア) ・モクレン ・サルスベリ ・ツツジ ・キッズ・遊具広場(ターザンロープ、インクルーシブ遊具、ボルダリング) ・四阿 ・水飲み ・トイレ ・出入口 ・駐輪場 ・富士見ヶ丘(富士山を眺望する丘) ・フルーツロード(実がなる木のある園路): すもも、きんかん、ブルーベリー、みかん、いちじく、ユスラウメ、レモン、セレージャ) ・公園名称案:「木達公園」
発表意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・真ん中に芝生広場に、シンボルツリーや四阿を配置し、近隣の方が集いゆっくりお話しできる場所としている ・北側に、サルスベリ、モクレン等の土地の歴史を感じられる木を配置した ・南側に、子ども達が遊べるようなターザンロープ、インクルーシブ遊具、ボルダリングを配置した ・幅広い世代で利用がある公園としている ・ほかのグループよりもみどりが多い案であり、土地の歴史を感じられる事を意識し、武蔵村山の原風景を残したいという思いがある ・外周にツツジなどの植栽を配置し、一年中花が楽しめるものを入れる ・フルーツロード(実のなる木)を配置し、歩きながらどんな実があるか、どんな花があるのかといった会話ができる仕掛けをつくる ・人が集まって過ごせる公園にしたい

Cグループ



テーマ※

「市内だけでなく市外の人も含めて、老若男女が楽しめる公園」

導入施設・記載内容

- 中央に芝生広場 中央にシンボルツリー(エノキ)とサークルベンチ
- BBQ かもどベンチ 手足洗い場
- 木(クスギ、コナラ、アベマキ:低密度)
- 駐輪場 駐車場 キッチンカー
- ソーラー時計 トイレ
- 丘(富士山の眺望) 丘の上にベンチ 丘沿いにポルダリング
- ターザンロープ アスレチック(インクルーシブ遊具、ブランコ、タイヤわたり)
- 外周部に花壇、生垣、フェンス
- 春:花(花壇) 夏:BBQ、虫とり 秋:BBQ 冬:ソリ
- 公園名称案
- 「中央公園」「モノレール公園」「希望公園」「モノレール希望公園」

発表意見等

- 高台にベンチを設けて、富士山、野山北の花火、西武園の花火を見る
- モノレール駅予定地と大型商業施設(イオン)までが一番の動線となり、地域内外の人を含めて入りやすくする
- ターザンロープと複合遊具は必ずおき、ターザンロープは、長いロープとしたい
- 西側の動線沿いに、キッチンカーをおいて、来る人を呼び寄せる
- 東側の木々は、カブトムシがとれるクスギやコナラなどを配置する
- 公園の外周は、花壇等で囲み、老人会等の地域で花を植えて楽しめる空間とする
- 北西部の丘は、芝の丘陵として、ソリやポルダリングで遊びを考えている
- 北東部には、BBQスペースとトイレを配置し、防災としても使えるかもどベンチやソーラー時計を設置する

※明確なテーマを明記していませんでしたが、発表内容から暫定的に決めました。

Dグループ



テーマ

「1つの公園でいろいろな体験ができる ~『え』:笑顔が集まる公園『の』:のんびりくつろぐ公園『き』:気持ちのいい公園~」

導入施設・記載内容

- シンボルゾーン:木の形をした展望台(ハックベリーの見晴台)、サークルベンチ
- アクティブゾーン:遊具広場(10m x 15m)、大型の防災機能を備えた遊具(めばる)
- キッチンカーゾーン:キッチンカーの配置スペース
- インクルーシブ・健康ゾーン:インクルーシブ遊具、足湯、踏石、健康器具、トイレ
- エントランス広場 芝生広場
- じゃぶじゃぶ池 手足洗い場
- かもどベンチ 水飲み ベンチ 野外卓 ソーラー照明 四阿
- 市民が集い植樹、植栽する 公園を使いながら市民のものにしていく。
- 維持管理のしきみ(ゾーンごとに管理するしきみをつくる)
- ゾーンごとに切庭琢磨してより良くなっていく、市民にゾーンごとに評価してもらう
- 公園名称案:「ハックベリランド」(エノキの英語名)
- アグリエリア(敷地外):体験農園、産地直売所、
- 季節のイベント
- 「春」:1~3月のチューリップの時期に植えた花が咲いたら色をあてる
- 「夏」:ミスト、手持ち花火大会 「秋」:トウモロコシ、芋ほり
- 「冬」:クリスマス、イルミネーション、プロジェクションマッピング、カウントダウンパーティ

発表意見等

- シンボルゾーンに、エノキをイメージした展望台を配置し、モノレールや狭山丘陵を臨む
- エントランスは、東屋、手足洗い場を配置する
- キッチンカーゾーンは、キッチンカーを並べて、その周りにテーブルベンチを配置して飲食ができるようにする
- アクティブゾーンは、めじるをイメージした大型遊具(防災機能あり)を配置する
- 健康ゾーンとインクルーシブゾーンはセットで配置し、足湯、健康器具、トイレ、インクルーシブ遊具を配置する
- インクルーシブ・健康ゾーンと芝生広場の間に、じゃぶじゃぶ池を配置する
- エントランスと芝生広場の間に、かもどベンチや水飲みを配置する
- 公園内を歩きたくなるような、幅員4mの園路を設ける
- 季節のイベントとして、春に咲いたチューリップの色当て、夏に展望台からミストや水鉄砲、手持ち花火、秋に近接する農家の農業体験(敷地外)、冬に展望台でクリスマス、イルミネーション、プロジェクションマッピングを楽しむ
- 展望台の周りに花壇、サークルベンチを配置した
- 維持管理の仕組みとして、公園全体をひとつの管理者が管理するのではなく、ゾーンごとに管理者をつくる
- 有志団体がそれぞれの花壇を管理し、お互いに切磋琢磨し、市民に評価してもらう
- 1枚のピザで4つの味を楽しめるように、1つのピザ(公園)の中に、様々な味(利用、機能)があるという考え